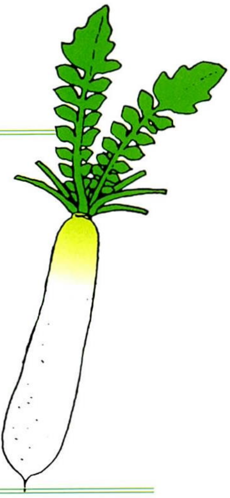
# ダイコン品種ラインアップの紹介（府県）



雪印種苗㈱　千葉研究農場

松　井　誠　二

## 1　はじめに

ダイコンは品種開発の成果により，春系，夏系，秋系，冬系の様々な優良品種が産地に導入され，周年供給が確立されてきました。さらに，各産地では作型における独自の気象，土壌条件を生かし，また，農業資材を有効利用することによって，良品の安定生産を目指しています。一方，市場サイドからは規格，品質の良さが重視され，より高品質なものが求められています。

弊社では，産地に適し，かつ品質の良い品種の開発を行なってきましたが，今回はその品種ラインアップと栽培のポイントについてご紹介致します。

## 2　各品種の特性（表1参照）

### 1）喜太一

**＝極晩抽性で，根がきれいに揃う青首春ダイコン＝**

極晩抽性で，東北・高冷地のトンネル～マルチ～露地栽培，一般地，暖地のトンネル遅播き～マルチ栽培に適します。根がきれいに仕上がるのが特徴で，ひげ根が細く，曲がりも少ない高品質なタイプです。草勢は葉がちになりにくく，萎黄病にも強いほうです。また，高温期の栽培でも生理障害の発生は少ないほうで，す入りも遅く，初夏～夏どりに適します。

写真1　喜太一

### 2）夏元太

**＝軟腐病，生理障害に強い総太り夏ダイコン＝**

東北・高冷地，一般地，暖地の露地～マルチ栽

表1　ダイコン各品種の生育特性

| 品種名 | 早晩性 | 葉色 | 草勢 | 適作型での生育日数 | 標準 根長(cm) | 標準 根径(cm) | 根形 | 首の色 | 耐病性 萎黄病 | 耐病性 ウイルス | 抽台性 | す入り | 品質 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 春風太 | 中生 | 濃緑 | 中 | 110～130日 | 38～40 | 7 | 総太り | 青首 | 🟢 | 🟢 | 🔴 | 🟠 | 🔴 |
| 幸太 | 早生 | 緑 | 中 | 60～110日 | 35～38 | 7 | 総太り | 青首 | 🟢 | 🟢 | 🔴 | 🟢 | 🟠 |
| 喜太一 | 中生 | 濃緑 | 中 | 60～90日 | 36～38 | 7 | 総太り | 青首 | 🟠 | 🟠 | 🔴 | 🟠 | 🔴 |
| 夏元太 | 中生 | 濃緑 | 中 | 57～60日 | 35～38 | 7～7.5 | 総太り | 青首 | 🟠 | 🟠 | 🟠 | 🟠 | 🔴 |
| 涼太 | 早生 | 緑 | 中 | 55～60日 | 35～39 | 7 | 総太り | 青首 | 🟢 | 🟠 | 🟢 | 🟠 | 🔴 |
| YR翔太 | 中生 | 緑 | 中 | 57～60日 | 33～35 | 7 | 総太り | 青首 | 🔴 | 🟠 | 🟢 | 🟠 | 🔴 |
| 優太 | 中生 | 緑 | 中 | 70～120日 | 37～40 | 7～8 | 総太り | 青首 | 🟢 | 🟢 | 🟢 | 🟠 | 🔴 |
| 秀太郎 | 中晩生 | 緑 | 中 | 120～150日 | 38～40 | 7～8 | 総太り | 青首 | 🟠 | 🟠 | 🟠 | 🟠 | 🔴 |

写真 2
夏元太

培に適します。一般に高温期の栽培は軟腐病，生理障害，萎黄病が問題になりやすく，収量が上がりません。夏元太はこれらの病害や生理障害に強く，収量が上がるのが特徴で，400～500 c/s/10 a が可能です。根は高温期で尻つまりが良いため，ボリューム感があり，きれいな肌とやや淡めの青首で市場性も優れます。また，晩抽性であるため，べたがけとマルチを有効利用すれば，東北・高冷地の 6 月播種ができます。

### 3）涼　太

**＝青首，肌が冴える，市場性抜群の夏秋ダイコン＝**

東北・高冷地，一般地，暖地の露地～マルチ栽培に幅広く適します。青首の鮮明さと肌の光沢が特徴で，早太りで曲がりも少なく，す入りも遅いため，品質が非常に優れます。また，比較的耐暑性があり，早播きでの生理障害，空洞，裂根が少なく，栽培が容易で，播種期幅も広い品種です。

写真 3
涼　太

### 4）ＹＲ翔太

**＝萎黄病抵抗性で，青首がきれいな夏秋ダイコン＝**

東北・高冷地の露地～マルチ栽培に適します。根の品質の良さと萎黄病抵抗性（ＹＲ）を合わせ持っているのが特徴です。ＹＲであるため，萎黄病汚染圃場でも安心して栽培できます。ただし，播種期幅は涼太よりやや狭いため，適期播種を行なってください。

### 5）優　太

**＝根が長めに揃い，ボリュームがある青首秋冬ダイコン＝**

暖地の露地～トンネル栽培に適します。低温期に向かっての作型でも根が長めに良く揃うのが特徴です。草勢は葉がちにならず，密植栽培やトンネル栽培に適します。また，根は低温期でも太り，尻つまりともに早い多収型の品種です。

### 6）秀太郎

**＝耐寒性が強く，根が長めに揃う冬～早春ダイコン＝**

暖地の露地栽培に適します。やや晩抽性で，密植しても根が長めに育つのが特徴です。葉は耐寒性が強い小葉で，根はひげ根が少ないきれいな肌で，青首は淡めで若々しさが感じられます。す入

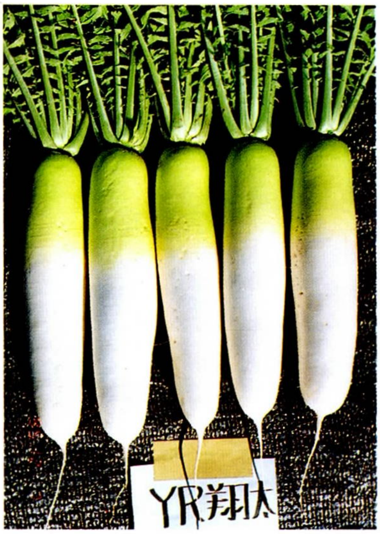



写真 4
ＹＲ翔太

写真５　優　太

写真６　秀太郎

りは遅く，曲がりは少なく，尻つまりも良い高品質多収型です。

### 7)　春風太

＝極晩抽性で，耐寒性が強く作りやすい
トンネル春ダイコン＝

暖地・一般地のトンネル早播きに適します。小葉で耐寒性が強く，作りやすいのが特徴です。根は長めの総太り型に揃い，首部は凍害による裂皮，肩こけが少なく，秀品率が高まります。す入りは遅く，肌は光沢があり，洗い上がりがきれいです。また，極晩抽性なので，収穫期間は比較的広くとれます。

### 8)　幸　太

＝極晩抽性で，肥大性が良く，青首が鮮明な
トンネル春ダイコン＝

暖地・一般地のトンネル播きに適します。低温

写真７　春風太

写真８　幸　太

期でも根形が総太りによく太るのが特徴です。葉は中葉で葉がちにならず，きれいな青首になります。肌はきめこまやかで，す入りは遅く，肉質は水々しく食味が優れます。

## 3　品種の体系と栽培のポイント

### 1)　東北・高冷地（図１参照）

①喜太一：マルチの早播きはベタガケ被覆とし，抽苔の回避と初期生育の促進を行なって下さい。露地の高温期の栽培は土作りのできた圃場を使用し，生理障害対策としてFTE(微量要素複合肥料）を４～６ kg/10 a 施用して下さい。

②夏元太：マルチを使用する場合は早播きでは透明マルチを，それ以降は品質対策を含めシルバーマルチとし，窒素もやや控えめとして下さい。７月の遅播きの窒素は追肥を含め８ kg/10 a くらい施して下さい。

③涼　太：早播きは窒素を控えめとし，播種が遅

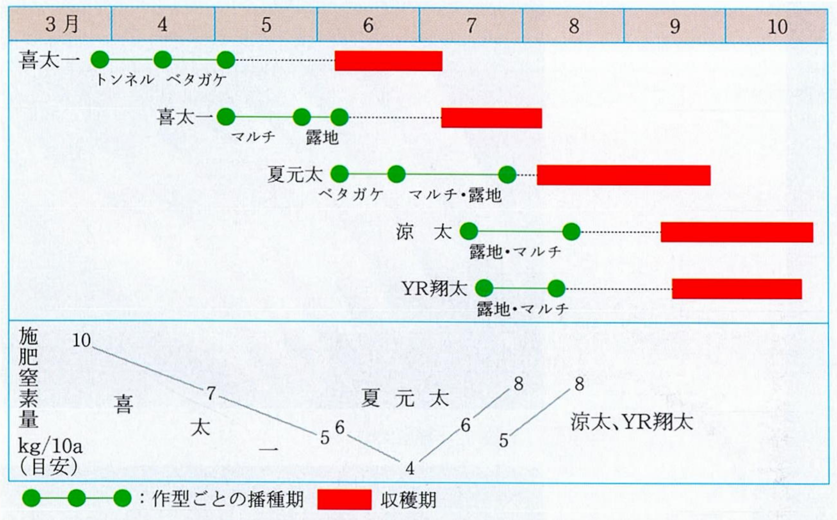



図１　各品種の播種体系（東北・高冷地）

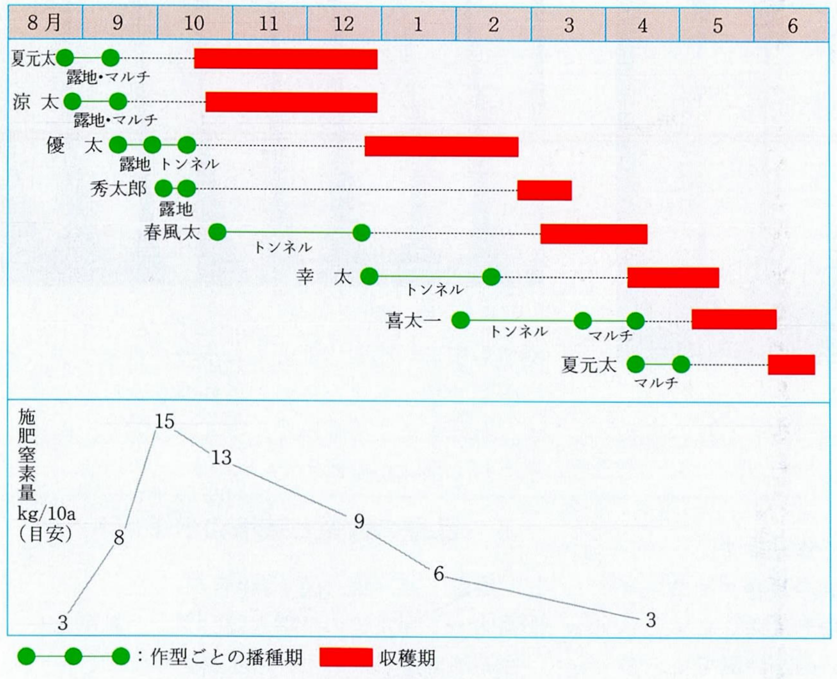



図２　各品種の播種体系（一般地、暖地）

くなるに従い，追肥を多めに施して下さい。

④ＹＲ翔太：シルバーマルチは良品の生産に適しています。ウイルス対策として播種時と間引き以降に殺虫剤を散布し，また，多湿圃場では排水対策を行なってください。

2)　一般地・暖地（図２参照）

①夏元太：遅播きは短根や肥大遅れの原因となりますので，地温の確保として透明マルチを使用して下さい。春の早播きは透明マルチ，遅播きはシルバーマルチ栽培として下さい。

②涼　太：早播きは窒素を控えめとし，播種が遅くなるに従い，追肥を多めに施して下さい。

③優　太：厳寒期対策として露地ではあらかじめ追肥を行い，トンネルでは裾を少し空けて霜除けして下さい。

④秀太郎：厳寒期で栽培期間も非常に長いため，過湿，過乾にならない肥沃な圃場に播種して下さい。

⑤春風太：肥沃な圃場を選び，深耕・高畦マルチを行い，作土を十分に確保して下さい。厳寒期にはトンネルの中にベタガケを被覆して生育を順調に進めて下さい。

⑥幸　太：無理な早播きは抽苔が，遅播きは生理障害が心配されますので，適期播種を行なって下さい。

⑦喜太一：生育の中～後半にトンネルで保温し過ぎると青首が淡めになりますので，葉伸びし過ぎないように換気を行なって下さい。

## 4　むすび

弊社のラインアップと栽培のポイントを簡単に紹介致しました。各品種の詳しい内容は別号で本誌に紹介しておりますので,併わせてご参考頂き，良品生産のお役に立てて頂ければ幸いです。